

北國街道滑川宿の街のまちづくり

2017年12月22日 富樫豊

■ 報告内容 * * * * *

1. 目次： 北國街道と滑川宿、街の活用の実際、若者の役割、文化財登録、効用と今後
2. 主張： 街づくりでは何を指す。街衆のかかわりは。滑川宿の取り組み紹介
3. 街づくり概要

「活動」： 地域活動として文化保全に日常で携わる。

ボランティアで街のアダプティブづくりを楽しむ。

「対象、狙い」： 営み向上、安心安全、文化継承発展

→ 観光推進や地場産業育成でなく → 居住環境向上

4. 現状、問題点

木造密集地→ 生活上の問題として日当たりや風通しに難あり

生業確保が困難、防災と耐震では不利

環境がいびつ→ 少子高齢化で若者のいない街、格差社会で都会へ集中

時代的評価 → 依然として時代にそぐわない「古い」という評価、便利さがない

5. 滑川宿の活性化、方針

滑川宿の雰囲気のもと、

宿場の環境の日常化→ 拠点の町家の自由使用

居の日常を身近に→ 喫茶店 つながりの多様として知的交流→ コミュニティハウス、セミナーハウス

宿場の個性と歴史の堪能 (アダプティブの磨き)→ 郷土の歴史行事

現代的展開→ エンターテイメントも

宿場からの発信→ 若者中心で

6. 今後

文化財の町家の修復に際して費用の工面。個人財産のままでいいのか。

街づくりには、地元者、よそ者、応援者と分けて、バランスのある活動を推進

7. 質疑応答、いくつかのコメントの紹介

・街づくりは一人ではできない。

・多くの街づくりには行政が入り込むが滑川は完全な民間人のボランティア。

・核となる地元民がいないと無理。

